

平成 26 年度 三条市小学校教育研究協議会図画工作部 活動報告

部長 飯田 満

1 研究主題

表現及び鑑賞活動を通して、感性を働かせ、つくり出す喜びを感じ取る子どもの育成

2 研究の概要

学習指導要領では、「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくり出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」ことを目標としている。

これまで、上記の目標達成のために、「鑑賞」に関する研修会及び「表現」に関する実技研修会を継続的に実施してきた。実技研修会では、一昨年度は絵画指導の研修、昨年度は工作指導の研修を行った。そこで、今年度は絵の具を使った造形活動を中心に研修を深めていくこととした。

3 事業の実際

日時	活動の概要（活動名、概要、指導者等）	会場 参加者数
5月8日（木） 15:35～16:45	○活動名 市小学校教育研究協議会図画工作部会 ○概要 組織づくり、活動計画及び予算計画立案等	一ノ木戸小学校 18名
6月20日（金） 15:30～16:45	○活動名 作品鑑賞会「県立近代美術館コレクション展」 ○指導者 作品解説担当：青木善治、佐藤久美子学芸員様 ○概要 彫刻作品や絵画作品を見ながら「対話型鑑賞」について研修した。学芸員の方の問いかけを元に、作品を見て感じたことや、気付いたことを複数人で出し合いながら、作品の見方を深めたり広げたりする方法を学んだ。	県立近代美術館 21名
9月25日（木） 14:30～16:45	○活動名 実技研修会「子どもの育ちを見据えた図工授業」 ○講師 図画作家：内野 務様 ○概要 絵の具を使った実技研修を行った。粘性を高くして版画のように使ったり、刷毛やスポンジを使って大きな紙に大胆に描いたり、イメージを膨らませてから絵を描いたりすることを学んだ。図画工作の時間の創作活動を通して、児童の自己決定力を高めていくこと、技能経験を積み創作活動のための引き出しを増やしていくことなども学ぶことができた。	月岡小学校 21名
関連・協力事業	○第32回ふるさと絵画コンクール（審査会9月17日、作品展11月15日・16日） 主催：三条市PTA連合会 共催：三条市教育委員会 *審査、展示準備立会等の協力 ○三条市幼・小・中美術展（実行委員会1月9日、美術展2月14日・15日） 主催：三条市幼・小・中美術展実行委員会、三条市私立幼稚園、三条市教育委員会 *事務局、展示・撤去作業等の協力	

4 成果と課題

第1回の研修では、作品の解説方法や作品の見方だけでなく、“気付きを広げる”作品鑑賞の仕方について学ぶことができた。

第2回の研修では、絵の具を使った様々な題材や新しい技法を学ぶとともに、図画工作を通して子どもたちに付けたい力についても学ぶことができ、実り多い研修であった。

今後も、部員のニーズや実態に沿った研修会を実施していく必要がある。



第2回 実技研修会の様子